

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	沖縄総合事務局長
【提出日】	平成23年7月1日
【事業年度】	第41期（自平成22年3月1日至平成23年2月28日）
【会社名】	株式会社サンエー
【英訳名】	SAN-A.CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 上地 哲誠
【本店の所在の場所】	沖縄県宜野湾市大山七丁目2番10号
【電話番号】	098（898）2230（代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役 諸見 明良
【最寄りの連絡場所】	沖縄県宜野湾市大山七丁目2番10号
【電話番号】	098（898）2230（代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役 諸見 明良
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年5月26日に提出いたしました第41期（自平成22年3月1日至平成23年2月28日）の有価証券報告書の一部に記載漏れがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

1 業績等の概要

(1) 業績

3【訂正箇所】

訂正箇所は__罫で示してあります。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

1【業績等の概要】

(1) 業績

(訂正前)

(前略)

「CVS（コンビニエンスストア）部門」

CVS部門におきましては、消費者の低価格志向の影響が残ったものの、消費市場全体として持ち直しており、コンビニエンスストア業界におきましても、10月以降回復の兆しが見えました。このような状況の中、株式会社ローソンの企業理念「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」の具現化を目指し、CVS事業を通じたCS（お客さま満足）の向上に努めてまいりました。また、沖縄の地域特性を活かした商品開発や販促活動を実施いたしました。その結果、売上高（直営店舗）は3億43百万円、営業収入は30億3百万円となりました。

なお、上記の金額及びこれ以降に記載している売上高、仕入高等には消費税等は含まれておりません。

(訂正後)

(前略)

「CVS（コンビニエンスストア）部門」

CVS部門におきましては、消費者の低価格志向の影響が残ったものの、消費市場全体として持ち直しており、コンビニエンスストア業界におきましても、10月以降回復の兆しが見えました。このような状況の中、株式会社ローソンの企業理念「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」の具現化を目指し、CVS事業を通じたCS（お客さま満足）の向上に努めてまいりました。また、沖縄の地域特性を活かした商品開発や販促活動を実施いたしました。その結果、売上高（直営店舗）は3億43百万円、営業収入は30億3百万円となりました。なお、CVS部門につきましては、前連結会計年度が第4四半期会計期間より連結の範囲となったため、前年同期比は記載しておりません。

なお、上記の金額及びこれ以降に記載している売上高、仕入高等には消費税等は含まれておりません。

以上